

目次

序章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象と方法	
3	回収状況	
4	回答者の属性	
5	報告書の見方	

第1部 調査結果

問1	人権に関する宣言や法律の認知度	2
問2	差別・人権に関する考え方	15
問3	人権問題に関する意見	25
問4	結婚(縁談)相手の調査	38
問5	家主による入居拒否への考え方	44
問6	障がい者の人権	49
問7	固定的性別役割分担に対する意識	51
問8	インターネット上の人権侵害に対する意識	53
問9	企業の社会的責任に対する意識	57
問10	人権問題解決に熱心に取り組んでいる人との出会い	67
問11	同和地区出身者の判断基準	73
問12	部落差別の現状認識と解消への見通し	75
問13	子どもの結婚希望相手が同和地区出身者だった場合の態度	77
問14	同和地区周辺の住居購入に対する意向	79
問15	同和問題に関わる情報とその受け止め方	82
問16	同和問題に関する意見	88
問17	過去5年間の人権侵害を受けた経験と対応	91
問18	人権問題に関する学習経験	96
問19	広報すずかの記事「ひろげよう人権尊重の輪」 閲読状況	100
問20	「鈴鹿市が人権尊重社会になっている」ことへの感じ方	101
問21	属性	102

第2部 詳細分析

第1章	設問間クロス集計	103
	・差別や人権に関する考え方について	
	・さまざまな人権課題について	
	・同和問題について	
	・鈴鹿市の人権について	
第2章	鈴鹿市人権問題に関する市民意識調査 詳細分析	126
	近畿大学人権問題研究所 教授 奥田 均	
第3章	まとめ	140

第3部 資料

	属性別集計	141
	人権問題に関する市民意識調査 調査票(数値結果含む)	185